

「社会参加と自立」の支援

誰もが元気に、生きがいを持って働き続けられる職場づくりを通して、多様な人々が共生できる社会づくりを推進します。

障がい者の雇用をひろげること。「ともに創る くらしと未来」の理念にもとづいた大切な目標のひとつです。障がいの有無に関わらず活躍できる場を広げ、適正な賃金で働ける場を提供することで誰もが元気に、笑顔で働ける社会づくり(生協づくり)に取り組んでいます。

2020年4月現在、コープおきなわのグループ全体で68名の障がいを持つ仲間が様々な分野で活躍しています(法定雇用率7.9%)。

■ (株)ハートコープおきなわ

コープおきなわの惣菜製造を行う子会社として、2014年に設立しました。県内企業としては初めて障がい者雇用に特別な配慮をした会社「特例子会社」の認定を受けました。当初は店舗の惣菜製造業務だけでしたが、現在は店舗(コープ山内)でのベーカリー製造も請けおい、社員数は12名(内、1名指導員)へと増えました。



(株)ハートコープおきなわの皆さん



あつふるタウン1階にある製造室

■ (株)ハートランドおきなわ

(株)ハートランドおきなわ2015年に「就労継続支援A型事業所」として設立し、コープ首里とコープこくばでベーカリー事業を通じ、障がいを持つ人の就労訓練を行っています。現在は社員3名、利用者※24名が在籍し、一般企業での就労をめざして訓練に励んでいます。すでにコープおきなわ店舗での一般就労に移籍した実績も生まれ、徐々に成果を上げています。

※働きながら就労訓練する人を利用者と呼んでいます。



(株)ハートランドおきなわの皆さん



利用者による商品の陳列や点検

■障がい者就労のモデルケース

就労支援A型事業所(ハートランド)を入り口に利用者として訓練し、働くことに慣れたら特例子会社(ハートコープ)で働いてもらう。そこで力をつけたらコープおきなわや他企業に一般就労する。その流れができつつあります。この4年間で一般就労に移行した人数は10人にもなりました。このような実績が評価を受け、(株)ハートランドおきなわへの求職者が増える好循環が生まれています。



コープおきなわの障がい者雇用の基本的な考え方